

授業計画

学年	区分	教科名	科目名	授業時間	対象
中学1年	必修	芸術	音楽	週2時間	中1全生徒
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「女子聖学院の歌」と讃美歌に親しみ女子聖学院の音楽を身に着ける ・初めての合唱に親しむ ・ハレルヤ・コーラスの譜面を読む力をつける ・ハレルヤ・コーラスを歌える発声を身に着ける ・クラシック音楽史の基礎となるバロック時代を理解する 				
学習教材	教科書 『中学生の音楽 1』(教育芸術社) 副教材 『ハレルヤ・コーラス(女声3部)』 シンキョウ社				
クラス編成	クラス単位				
成績評価方法	前期、後期共に 実技1回、筆記テスト(年数回)、各単元ルーブリックの合計点での評価				

年間スケジュール

学期	学習内容	備考(指導方法など)
前期	1 「女子聖学院の歌」、讃美歌に親しむ ・正しい姿勢で歌えるよう指導する ・「女子聖学院の歌」の作詞、作曲者について学ぶ 2 合唱曲を学ぶ「楽曲未定」 3 ヴィヴァルディ作曲「四季」より「春」の鑑賞 ・バロック時代の音楽様式について学ぶ ・作曲家ヴィヴァルディについて知る 4 音楽の基本事項について学ぶ	女子聖学院の歌 実技テスト
	前期中間試験(実技テストと授業内筆記テストで評価)	
	1 「ハレルヤ・コーラス」のパート毎譜読み ・ソプラノ、メゾ・ソプラノ、アルトに分かれて音取りを取り組む ・作品と作曲者について学ぶ(音楽の正しい理解と表現につなげる)	
前期期末試験(同上)		

学期	学習内容	備考(指導方法など)
後期	引き続き「ハレルヤ・コーラス」譜読みと曲の完成 ・合唱コンクール曲の完成への助言 ・クリスマス学年賛美「ノエル」の譜読みと完成	ハレルヤ抜粋実技テスト
	後期中間試験(実施せず)	
	鑑賞1 シューベルト作曲「魔王」 ・作品の理解 ・ドイツ歌曲の理解 ・作曲者の理解 ・ロマン派の理解 鑑賞2 バッハ作曲「小フーガ短調」 ・作品の理解 ・パイプオルガンの理解 ・作曲者の理解	・鑑賞時にテーマにそった鑑賞シートを記入し、各自のイメージを発表しあう。 ・チャペルのパイプオルガンで実際の構造を見学し、生の音響を体験する。
	後期期末試験(実技テストと授業内筆記テストで評価)	